

様式（細則5-2）

令和4年12月7日

浜田市議会議長

笹田 卓 様

議員名 西田 清久

調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため研修を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 令和 4年 11月 24日（木） 13:00～15:00
2. 研修内容 ローカル・マニフェスト推進連盟 関西勉強会
関西のトップランナー大集合！
”ごっつい”取り組みと成果を学ぶ（オンライン参加）
3. 研修先 浜田市議会事務局（オンライン参加）
4. 調査経費 5,000円
（経費内訳 受講料 5,000 円）
5. 調査研究活動の概要
 - * 基調講演 早稲田大学名誉教授・元三重県知事 北川 正恭
「マニフェスト20年 ローカルマニフェストで地域から日本が変わる」
 - ・ 議会は単なる監視機能ではない。民意の反映機関だ!!
中央に追随する機関ではダメだ!!
 - ・ 量的改革ではなく質的改革で政策提案機能を発揮せよ!!
 - ・ 執行機関と議事（議決）機関は対等、二元代表制!!
 - ・ 気づきの連鎖で地方が変わって国が変わる。
 - * 講演 公益財団法人図書館振興財団 事務局長 佐藤 達生
「図書館を使った地域課題の解法と資金調達」
 - ・ 図書館を造るときは良いものを造りたいが、造ってしまうと関心が無く



なってしまう。図書館は考えなくてはならない!!

- ・ コロナによって人の行動様式が変わり、電子書籍のニーズも変わった。
- ・ 図書館はお金が出ていくだけの福祉施設ではいけない。教育施設だ!!

* 事例発表 滋賀県大津市議会議員 谷 祐治

「びわこ大津草津景観推進協議会・びわこ東海道景観協議会による景観基本計画の策定と東海道の魅力を発信する統一案内看板の創造」

- ・ 近江八景の云われを基に実行した「びわこ大津草津景観宣言」
(地元愛に基づいた活動)

* 事例発表 下宿生でも投票できますプロジェクト 立命館大学生 2名
「下宿大学生の投票用紙へのアクセス向上に向けた、不在者投票制度利用推進の試み」

- ・ 76%の学生が住民票を移していない。
- ・ 不在者投票制度を知らない学生が多い。
- ・ 投票する権利の不平等が、下宿大学生に降りかかっている。
- ・ 若者の政治からの排除に異を唱える活動だ!!

* 事例発表 大阪府枚方市子ども未来部子ども青少年政策課

「公民連携で子ども食堂の運営を支援! 『子ども食堂 DX 実証実験』」

- ・ 背景に近年、子ども食堂への食材の寄附の申し出は増加傾向。
- ・ 「DX」と「タクシーの活用」による子ども食堂の運営支援の新たな可能性を検証。
- ・ 連携開始後に明らかになった課題に携わる事業者も加わり、多面的な実証が可能になった。
- ・ タクシーの有する機動力の活用で食材を指定の日時・配送先に届けることで社会実装後の全国展開に向けた検証を行う。
- ・ 事業者の社会貢献型通信サービス利用者からの寄附を原資にした助成金の活用により、子ども食堂に市の費用負担はゼロ。

所感

オンラインで許された時間内での研修であったが、ローカルマニフェスト推進連盟主催の先進事例の取組みが数多く視聴でき、大変有意義だった。特に北川教授の講義は、議会人としての基本的な内容ではあるが、改めて直接拝聴すると胸に染み入った。

下宿生でも投票できますプロジェクトや公民連携での子ども食堂の運営支援は、浜田市にも取り組める内容だと思う。

以上